



名城大学

問題文が完全に一致しており、
傍線部、設問表現、正解選択肢の内容ともに的中

入試問題

2月2日実施 農学部 A方式・F方式・K方式
大問2 問5

二 二次の文章は説話集「十訓抄」の一節である。そのあらまは、後に大納言の要職につく行成が殿上を許されたばかりのある日、実方中将に無礼な行為をされたというものである。これを讀み、後の問い(問一～問十)に答えなさい。

大納言行成卿、いまだ殿上人にておはしける時、実方中将、いかなるいきどほりかありけむ、殿上に参りあひて、いふこともなく、行成の冠をうち落として、小庭に投げ捨ててけり。行成、少しもさわがずして、主殿司を召して、「冠取りて参れ」とて、冠して、守刀より、かうがい抜き出だして、鬢かいつくろひて、居直りて、「いかなることに候ふやらむ。たちまちに、かうほどの乱罰にあづかるべきこととおぼえ侍らるはしくいはれけり。実方はしらけて、逃げにけり。」

折しも小部より、主上御覽じて、「行成はいみじき者なり。かくおとなしき心あらむとこそ思はざりしか」とて、そのたび蔵人頭あきけるに、多くの人を越えて、なされにけり。実方はば、中将を召して、「歌枕見て参れ」とて、陸奥守になして、流し遣はされける。やがて、かしこにて失せにけり。

実方、蔵人頭にならでやみにけるを恨みて、執とまりて、雀になりて、殿上の小白盤に居て、台盤を食ひけるよし、人いひけり。

II

(「十訓抄」による)

河合塾

大学受験科 基礎シリーズ
古文 第10講A [18] 問3

[18] A 次の文章を讀んで、後の問いに答えよ。

大納言行成卿、いまだ殿上人にておはしける時、実方中将、いかなる憤りかありけん、殿上に参り会ひて、いふ事もなく、行成の冠を打ち落として、小庭に投げ捨ててけり。行成少しもさわがずして、主殿司を召して、「冠取りて参れ」とて、冠して、守刀より鉾ぬき取りて、鬢かいつくろひて、居なほりて、「いかなる事に候ふやらん、たちまちにかうほどの乱罰にあづかるべき事こそ覚え侍らね。その故を承りて、後の事にや侍るべからん」と、ことうるはしくいはれけり。実方は、しらけて逃げにけり。

折しも、小部より、主上、御覽じて、「行成はいみじき者なり。かくおとなしき心あらんとこそ思はざりしか」とて、そのたび蔵人頭あきたりけるに、多くの人を越えてなされにけり。実方はば、中将を召して、「歌枕見て参れ」とて、陸奥国の守になしてぞつかはされけり。やがてかしこにて失せにけり。実方、蔵人頭にならでやみにけるを恨みにて、執とまりて雀になりて、殿上の小白盤に居て、台盤をくひけるよし、人いひけり。一人は不[□]によりて前途を失ひ、一人は[□]を信するによりて褒美にあへるたとへなり。

(「十訓抄」による)

〔出典〕
「十訓抄」

〔重要語句〕

○いかなり

○つくろふ

○居なほる

○かう(か)

○ほど

○あづかる

○覚ゆ

○おるはし

○折しも

○いみじ

○おとなし

○見

○つかはず

○やがて

○失す

○やむ

○居る

○よし

○たとへ

問3 傍線部A「多くの人を越えてなされにけり」とは、誰がどのようにしたことか。その説明

として最も適当なものを、次の①～⑤のうちから一つ選べ。

- ① 帝が、蔵人頭をやめさせて代わりに行成を任命した。
- ② 行成が、空席となった蔵人頭の地位を帝に願い出た。
- ③ 蔵人頭が、みずからの後任として行成を推薦した。
- ④ 帝が、欠員のあった蔵人頭の地位に行成を**抜擢**した。
- ⑤ 行成が、蔵人頭の地位を他人に譲ろうとした。

問5 傍線部4「多くの人を越えて、なされにけり」とは誰がどうしたことか。その説明として最も適切なものを、次の①

～⑤のうちから一つ選び、その番号を解答欄にマークせよ。解答番号は 32。

- ① 行成が、多くの人を飛び越えて天皇の前で功績を残したということ。
- ② 天皇が、多くの人を飛び越えて出世していく行成の実力を認めたということ。
- ③ 行成が、多くの人よりも先に蔵人頭に推薦するよう天皇に懇願したということ。
- ④ 天皇が、多くの人よりも先に行成のことを蔵人頭に任命したということ。
- ⑤ 行成が、多くの人よりも先に蔵人頭としての任期を終了したということ。